

計画書作成シート（記入例）

事業実施主体名	(法人名・屋号) 株式会社〇〇〇〇 (代表者氏名) 〇〇〇〇
住所	埼玉県本庄市朝日町〇-〇-〇
電話番号	0495-xx-xxxx

要望日 令和8年4月26日

チラシ裏面の事業内容
①～⑧にあてはまるものを記載してください。

①導入したいものを整理しましょう。

導入したい機器・資材	資材の場合	事業メニュー	個数	新規・追加・更新	更新の場合		税抜金額(円)
	設置方法				現在使用している機器・資材	使用年数／耐用年数	
ダクトファン（アウトサイダー）		①	12機	追加		年／年	600,000
ヒートポンプ（ぐっぴーバズーカ）		②	1台	更新	グリーンパッケージ	10年／7年	2,000,000
かん水装置、井戸掘削費		⑧	一式	新規		年／年	2,000,000
遮光資材（ネオシェード清冷）	外部遮光	③	一式	新規		年／年	1,000,000
						年／年	

資材の場合は、内張・外部設置・外張の中から選んで設置方法も記載してください。

計画書作成シート（記入例）

②機器・資材を導入するほ場の情報を整理しましょう。

事業メニュー	導入したい機器・資材	ほ場番号	ほ場の面積(m ²)	栽培品目	現在の収量(kg・鉢等)	R9年の目標収量(kg・鉢等)
①	ダクトファン（アウトサイダー）	1	2,000	トマト	30,000kg	33,000kg
②・③	ヒートポンプ（ぐっぴーバズーカ）・遮光資材（ネオシェード清冷）	2	1,000	シクラメン	秀品 4,000 鉢	秀品 6,000 鉢
⑧	かん水装置、井戸掘削費	3	1,500	さといも	3,000kg	4,500kg
<p>1つのほ場やハウスに複数の機器や資材を導入する場合は導入したい機器・資材欄に複数記載してください。</p>					<p>栽培している面積あたりの収量を記載してください。 ・総収量の向上ではなく、品質向上が期待できる場合は、上位規格品の収量の増加を目標としてください。 ・育苗ハウスの場合は、苗の収量向上を目標としてください。</p>	

③申請の準備が整ったら以下の内容の確認し、を入れてください。1つでもがない場合は申請できません。

県からの補助金の支払は、原則として当該事業実施主体からの精算払請求後となること。

申請内容に虚偽があった場合や、県から求められた書類等の提出に故意に応じない場合等には、県は交付決定を取り消し、又は補助金返還を命令すること。

本事業で導入する機器・資材等に対して、他の補助金等を受けていないこと（市町村等における本事業への上乗せ補助は除く）。

高温対策等園芸産地育成緊急支援に係る個人情報の取扱いについて同意する。（別紙「個人情報の取扱い」を御確認の上、してください）

計画書作成シート（記入例）

④添付書類について準備できたものに☑を入れてください。

（必須書類）

- 機器・資材のカタログ（物品の場合）
- 設計図・図面（工事を伴う場合）
- 機器・資材・工事の見積書（事業メニュー毎に参考見積1者、申請者名と見積の宛名は同一とすること）
- 機器・資材を導入するほ場の地図（ブルーマップ、農地ナビなど）

（優先採択に係る関係書類）※ア～オは令和8年5月22日を有効期限に含むもの。

- ア 認定農業者または認定新規就農者の認定証の写し
- イ 環境負荷低減事業活動実施計画の認定（みどり認定）の写し
- ウ スマート農業技術の活用及びこれと併せて行う農産物の新たな生産の方式の導入に関する計画（生産方式革新実施計画）の認定（スマート認定）の写し
- エ 収入保険、農業共済（本事業により機械・設備を導入するハウスが補償の対象であること）、野菜価格安定制度（事業対象作物が補償の対象であること）いずれか加入証の写し
- オ S-GAP等のGAP認証の証書の写し
- カ 県農業支援課が主催する経営力向上に向けた講習会の修了証の写し（平成29年度以降のもの）

⑤地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）に位置付けられていることについて、市町村に照会し確認をします。

営農している市町村をすべて記載してください。

【市町村名 本庄市、上里町

】